

第三者評価結果の公表事項（児童自立施設）

①第三者評価機関名

--

②評価調査者研修修了番号

③施設名等

名 称 :
種 別 :
施設長氏名 :
定 員 :
所 在 地 :
T E L :
【施設の概要】
開設年月日
経営法人・設置主体（法人名等） :
職員数 常勤職員 :
職員数 非常勤職員 :
専門職員の名称（ア）
上記専門職員の人数 :
専門職員の名称（イ）
上記専門職員の人数 :
専門職員の名称（ウ）
上記専門職員の人数 :
専門職員の名称（エ）
上記専門職員の人数 :
専門職員の名称（オ）
上記専門職員の人数 :
専門職員の名称（カ）
上記専門職員の人数 :
施設設備の概要（ア）居室数 :
施設設備の概要（イ）設備等 :
施設設備の概要（ウ） :
施設設備の概要（エ） :

④理念・基本方針

--

⑤施設の特徴的な取組

--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	
受審回数	回
前回の受審時期	平成 年度

⑦総評

◇特に評価が高い点
◇改善が求められる点

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

--

⑨第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（児童自立支援施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	
【コメント】	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	
【コメント】	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	
【コメント】	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	
【コメント】	
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	
【コメント】	
(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	
【コメント】	
② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	
【コメント】	

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	
【コメント】	
② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	
【コメント】	

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	
【コメント】	
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	
【コメント】	
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	
① 12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	
【コメント】	
② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	
【コメント】	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	
【コメント】	
② 15 総合的な人事管理が行われている。	
【コメント】	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	
【コメント】	

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	
【コメント】		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	
【コメント】		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	
【コメント】		
(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	
【コメント】		

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	
【コメント】		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	
【コメント】		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	
【コメント】		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	
【コメント】		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な関係機関・団体等の機能や連絡方法を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	
【コメント】		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 施設が有する機能を地域に還元している。	
【コメント】		
②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	
【コメント】		

Ⅲ 適切な支援の実施

1 子ども本位の支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	
【コメント】		
②	29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した支援の実施が行われている。	
【コメント】		
(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	
【コメント】		
②	31 支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	
【コメント】		
③	32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	
【コメント】		
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		第三者 評価結果
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	
【コメント】		
(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	
【コメント】		
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	
【コメント】		

	③ 36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	
【コメント】		
(5)	安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。	第三者 評価結果
	① 37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	
【コメント】		
	② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	
【コメント】		
	③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	
【コメント】		

2 支援の質の確保

(1)	支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
	① 40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	
【コメント】		
	② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	
【コメント】		
(2)	適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。	
	① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	
【コメント】		
	② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	
【コメント】		
(3)	支援の実施の記録が適切に行われている。	
	① 44 子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	
【コメント】		
	② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	
【コメント】		

内容評価基準（41項目） A-1 子ども本位の支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果
① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。	
【コメント】	
② A2 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	
【コメント】	
③ A3 特別支援日課など子どもの行動などの制限については、子どもの安全の確保等のために、他に取るべき方法がない場合であって子どもの最善の利益になる場合にのみ、適切に実施している。	
【コメント】	
(2) 権利についての説明	
① A4 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	
【コメント】	
(3) 他者の尊重	
① A5 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	
【コメント】	
(4) 被措置児童等虐待対応	
① A6 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	
【コメント】	
② A7 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	
【コメント】	
③ A8 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	
【コメント】	

(5) 思想や信教の自由の保障		
	① A9 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	
【コメント】		
(6) こどもの意向や主体性への配慮		
	① A10 施設が行う支援について事前に説明し、子どもが主体的に選択（自己決定）できるよう支援している。	
【コメント】		
	② A11 子ども自身が自分たちの生活全般について自主的に考える活動を推進し、施設における生活改善や自立する力の伸長に向けて積極的に取り組んでいる。	
【コメント】		
(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
	① A12 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの課題として主体的に考えるよう支援している。	
【コメント】		
	② A13 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念や生活技術が身につくよう支援している。	
【コメント】		
(8) 継続性とアフターケア		
	① A14 家庭引きりに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	
【コメント】		
	② A15 子どもが安定した社会生活や家庭生活を送ることができるよう、通信、訪問、通所などにより、退所後の支援を行っている。	
【コメント】		

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本		第三者 評価結果
	① A16 子どもを理解・尊重し、その思い・ニーズをくみ取りながら、子どもの発達段階や課題に考慮した上で、子どもと職員との信頼関係の構築を目指している。	
【コメント】		
	② A17 子どものニーズをみとめることのできる日常的で良質な生活を営みつつ、職員がモデルとなることで、子どもの協調性を養い、社会的ルールを尊重する気持ちを育てている。	
【コメント】		

	③ A18 集団生活の安定性を確保しながら、施設全体が愛情と理解のある雰囲気に入れられ、子どもが愛され大切にされていると感じられるような家庭的・福祉的アプローチを行っている。	
【コメント】		
	④ A19 発達段階に応じて食事、睡眠、排泄、服装、掃除等の基本的な生活習慣や生活技術が習得できるよう支援している。	
【コメント】		
	⑤ A20 多くの生活体験を積み重ね、子どもがその問題や事態の自主的な解決等を通して、子どもの健全な自己の成長や問題解決能力を形成できるように支援している。	
【コメント】		
	⑥ A21 子どもの行動上の問題を改善するために、自ら行った加害行為などと向き合う取組を通して自身の加害性・被害性の改善や被害者への責任を果たす人間性を形成できるように支援している。	
【コメント】		
(2) 食生活		
	① A22 団らんの場として和やかな雰囲気の中で、食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、子どもの嗜好や栄養管理にも十分な配慮を行っている。	
【コメント】		
	② A23 子どもの生活時間にあわせた食事時間の設定を含め、子どもの発達段階に応じた食習慣の習得など食育を適切に行っている。	
【コメント】		
(3) 衣生活		
	① A24 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供し、衣習慣を習得できるよう支援している。	
【コメント】		
(4) 住生活		
	① A25 居室等施設全体が、子どもの居場所となるように、安全性、快適さ、あたたかさなどに配慮したものにしている。	
【コメント】		
(5) 健康と安全		
	① A26 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気等）や安全について自己管理ができるよう支援している。	
【コメント】		
	② A27 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	
【コメント】		

(6) 性に関する教育	
①	A28 子どもの年齢、発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。
【コメント】	
(7) 行動上の問題に対する対応	
①	A29 子どもに暴力、不適応行動、無断外出などの行動上の問題があった場合には、関係のある子どもも含めて適切に対応している。
【コメント】	
②	A30 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体に徹底している。
【コメント】	
③	A31 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。
【コメント】	
(8) 心理的ケア	
①	A32 被虐待児など心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。
【コメント】	
(9) 学習支援、進路支援、作業支援等	
①	A33 学習環境の整備を行い、個々の学力等に応じた学習支援を行っている。
【コメント】	
②	A34 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。
【コメント】	
③	A35 作業支援、職場実習や職場体験等の機会を通して、豊かな人間性や職業観の育成に取り組んでいる。
【コメント】	
④	A36 施設と学校との親密な連携のもとに子どもに対して学校教育を保障している。
【コメント】	
⑤	A37 スポーツ活動や文化活動を通して心身の育成を図るとともに、忍耐力、責任感、協調性、達成感などを養うように支援している。
【コメント】	

(10) 通所による支援	
①	A38 地域の子どもの通所による支援を行っている。
【コメント】	
(11) 施設と家族との信頼関係づくり	
①	A39 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。
【コメント】	
(12) 親子関係の再構築支援	
①	A40 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。
【コメント】	
(13) スーパービジョン体制	
①	A41 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。
【コメント】	